

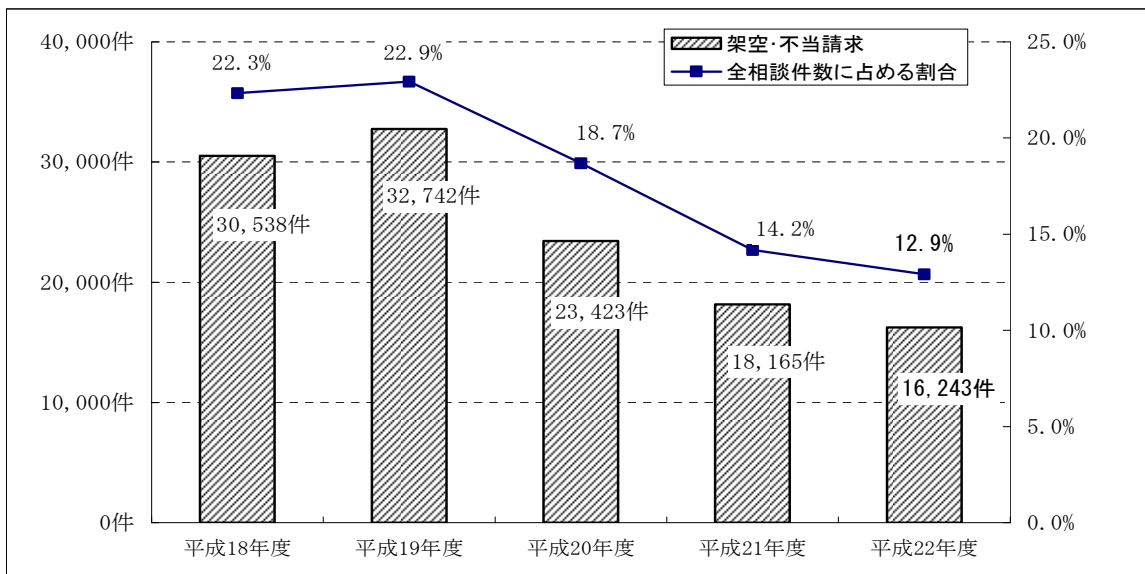
(4) 架空・不当請求に関する相談

① 身に覚えのない代金の請求や不当に高額な請求などの「架空・不当請求」に関する相談は16,243件寄せられ、前年度に比べ10.6%の減少となった。過去5年間でみると減少傾向にあるが、全相談件数に占める割合は12.9%となり、依然として多くの相談が寄せられている。(図-7)

その多くは「アダルト情報サイト」の相談であり、平成22年度は9,464件寄せられ、前年度(6,326件)より49.6%増加している。(表-7)

② 契約当事者の年代別をみると、どの年代からも相談が寄せられているが、「30歳代」からの相談が22.1%と最も多い。(図-8)

【図-7】 架空・不当請求に関する相談件数の推移



【表-7】 架空・不当請求の相談
商品・役務分類上位5位(平成22年度)(単位:件)

商品・役務分類	22年度	21年度	対前年度比
1 アダルト情報サイト	9,464	6,326	149.6%
2 デジタルコンテンツ一般	2,545	5,345	47.6%
3 出会い系サイト	1,610	2,913	55.3%
4 賃貸アパート	366	452	81.0%
5 商品一般	281	550	51.1%

【図-8】 架空・不当請求の相談
契約当事者年代別(平成22年度)

